

平成26年度 新発田・北蒲特別活動部 活動報告

部長 松崎 文美

1 研究主題

「望ましい人間関係を形成し、よりよい学級にしていくための手立てを探る」

2 研究の概要

近年、社会性が不足し、人間関係を形成することを苦手とする子どもたちが増えてきている。特別活動の中でも、学級活動は、子どもたちのそうした力を育成する領域として、大きな役割を担っている。

今年度も、「学級会」の話し合いができる子どもたちを育成していきたいという部員のニーズから、第3回目の部会で学級会の研究授業を設定した。第2回目では、研究授業に向けて、講師の先生から、望ましい学級集団のつくり方や、教師の構え、話し合い活動の日常化などについて、講演していただいた。

3 研究の実際

第1回専門部会 4 / 10 (木) 会場 亀代小学校	部長・副部長選出 研修テーマ・活動計画立案 授業者選出	
第2回専門部会 6 / 13 (金) 会場 加治川小学校	講演会 「望ましい人間関係を形成し、 より良い学級にしていくた めの手立て」	講師 新潟市立葛塚小学校 教頭 三條 貴之様
第3回専門部会 11 / 14 (金) 会場 山倉小学校	授業研究 学級活動 「児童会祭りを盛り上げよう」	授業者 聖籠町立山倉小学校 教諭 八子 正彦 講師 新潟市立葛塚小学校 教頭 三條 貴之様

第2回専門部会では、講師の三條貴之先生から、「学級会の進め方」と題して、基本的な話し合いの進め方や、話し合いに用いると効果的な小道具、しておくよい準備など、学級会を進める上でのポイントを聞かせていただいた。また、部員が一人一実践を用いて紹介し合い、一人一人の意識の向上を図った。

第3回専門部会では、山倉小学校の八子正彦先生から、学級会の授業を公開していただいた。小グループでの話し合い、席を自由に離れて意見交換できるフリータイムなどを設け、クラス全員が意見を持ち、話し合いに参加できる工夫がなされていた。その後、三條先生より協議にも加わっていただき、教師の出場、拾うべき意見などについてご指導いただいた。



4 成果と課題

【成果】

三條先生を講師としてお招きしたことで、授業研究に向けた日々の学級づくりの在り方や話し合いの準備の仕方など、多くの点で大変参考になった。授業研究では、それらを生かしながら手立てを講じたり、各部員の意見を参考にしたりして、ねらいのはっきりした授業が展開されていた。

【課題】

2年間、高学年での「児童会祭り」に関する授業研究が続いている。中学年や低学年の授業実践を通して、さらに特別活動の研修を深めていきたい。